

第12回 全国シンポジウム

地域枠の役割と効果について

令和2年2月14日(金)

鹿児島県くらし保健福祉部 次長 中俣和幸



1 鹿児島県の医師の現状

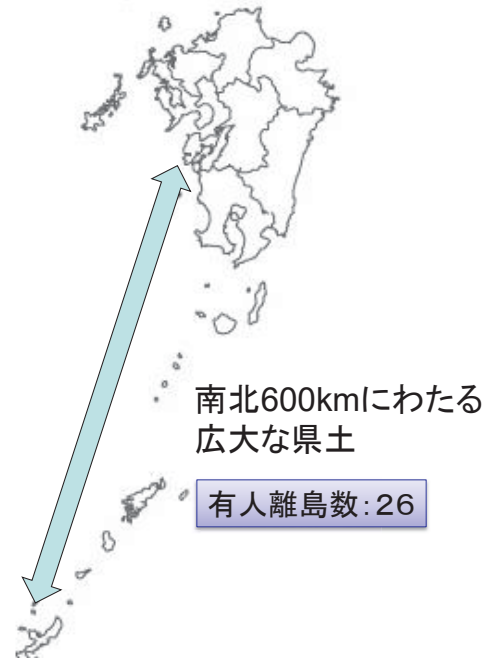
- 1) 鹿児島県の概要
- 2) 人口の推移
- 3) 高齢化率の推移
- 4) 医師数の推移
- 5) 人口10万人対医師数(総数)



本日の内容

- 1 鹿児島県の医師の現状
- 2 鹿児島県地域枠制度の概要
- 3 地域枠医師の確保・養成に向けた取組

1) 鹿児島県の概要



指標	数値	全国順位
総面積(km ²)	9,187	10位
離島面積(km ²)	2,485	1位
海岸線延長(km)	2,643	3位
人口(千人)	1,648	24位
高齢化率(%) (※1)	29.4	19位
合計特殊出生率 (※2)	1.70	4位

※1 65歳以上人口が総人口に占める割合
※2 1人の女性が一生に産む子どもの平均数

1) 鹿児島県の概要(離島の概要)

(鹿児島県離島の全国の離島に占める位置)

区分	鹿児島県離島(A)			全国離島(B)	A/B	全国順位	時点
	一般離島	奄美	計				
人口(人)	49,339	110,147	159,486	618,974	25.8%	1	H27.10.1
面積(km ²)	1,243.06	1,231.11	2,474.17	7,649.31	32.3%	1	H27.10.1

※人口ー平成27年国勢調査(総務省)
面積ー全都在道府県市区町村別面積調、島面積(国土地理院)
※集計は県離島振興課による。

(有人離島の状況)

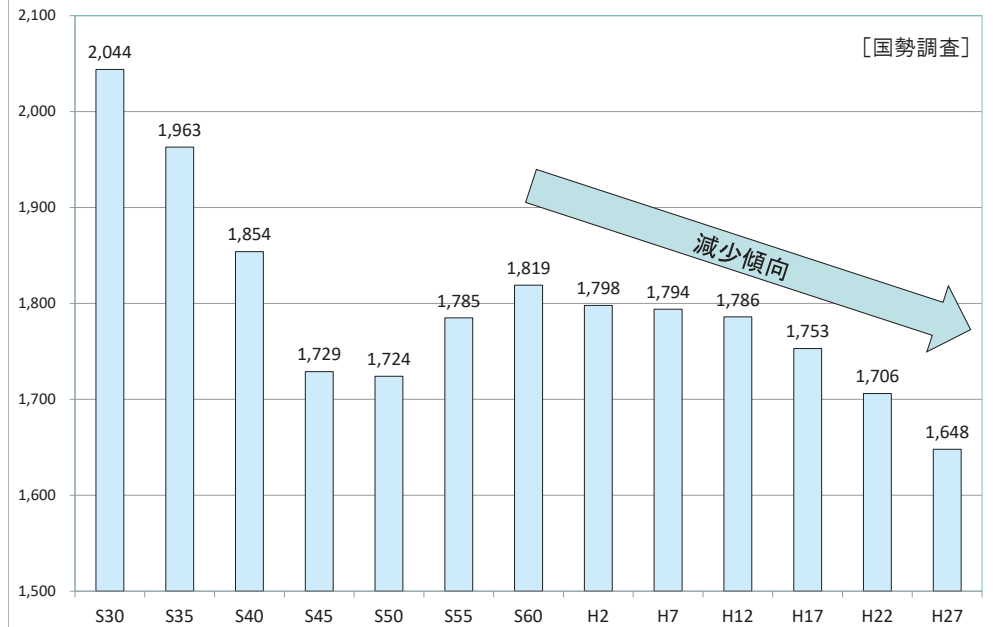
No	島名	人口(人)	面積(km ²)	無医島	所在市町村
1	獅子島	689	17.06	○	長島町
2	桂島	8	0.33	○	出水市
3	上甑島	2,174	44.20		薩摩川内市
4	中甑島	224	7.28		
5	下甑島	2,321	65.56		
6	竹島	87	4.22	○	三島村
7	硫黄島	130	11.63	○	
8	黒島	190	15.39	○	
9	口之島	159	13.33	○	十島村
10	中之島	171	34.42	○	
11	平島	71	2.08	○	
12	諏訪之瀬島	73	27.61	○	
13	悪石島	79	7.49	○	
14	小宝島	55	1.00	○	
15	宝島	148	7.07	○	
16	種子島	29,847	444.30		西之表市、中種子町、南種子町
17	屋久島	12,913	504.29		屋久島町
18	口永良部島	0※	35.81	○	
19	奄美大島	59,828	712.35		奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町
20	加計呂麻島	1,262	77.25		瀬戸内町
21	請島	82	13.34	○	
22	与路島	84	9.35	○	
23	喜界島	7,212	56.76		喜界町
24	徳之島	23,497	247.85		徳之島町、天城町、伊仙町
25	沖永良部島	12,996	93.65		和泊町、知名町
26	与論島	5,186	20.56		与論町
計	26島	159,486	2,474.17	15島	4市13町4村

※国勢調査時点は全島避難中。
調査後のH28.12.31住民基本台帳人口は121人



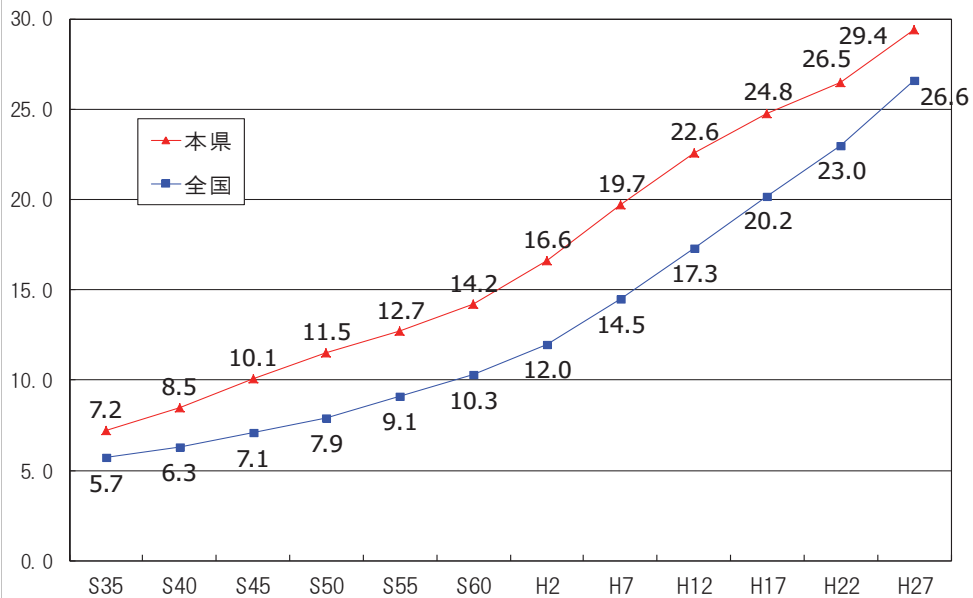
2) 人口の推移

(千人)



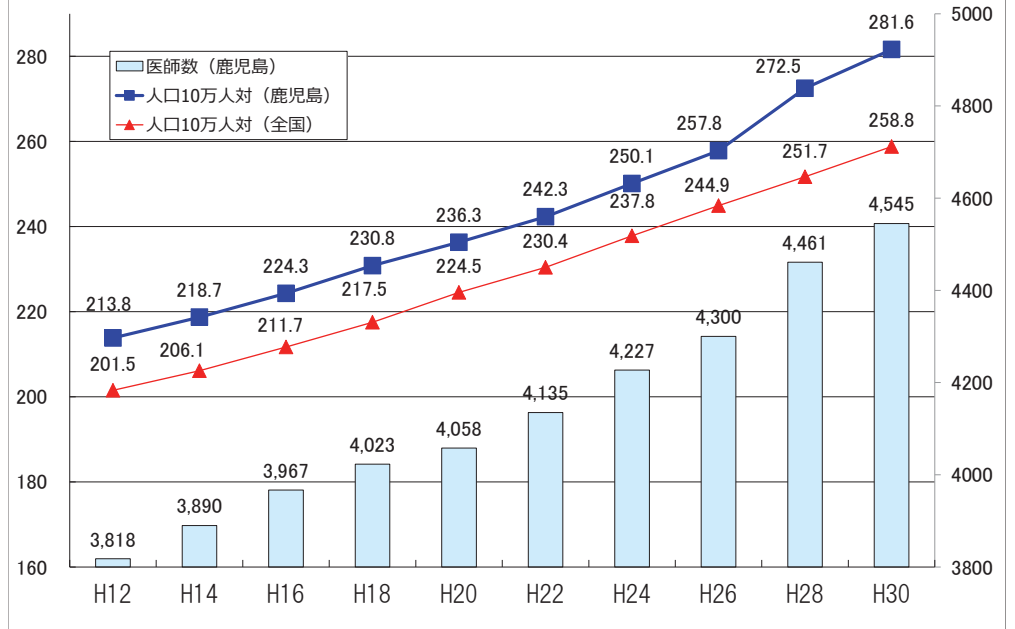
3) 高齢化率の推移

(%) 高齢化率:65歳以上人口が総人口に占める割合 [国勢調査]



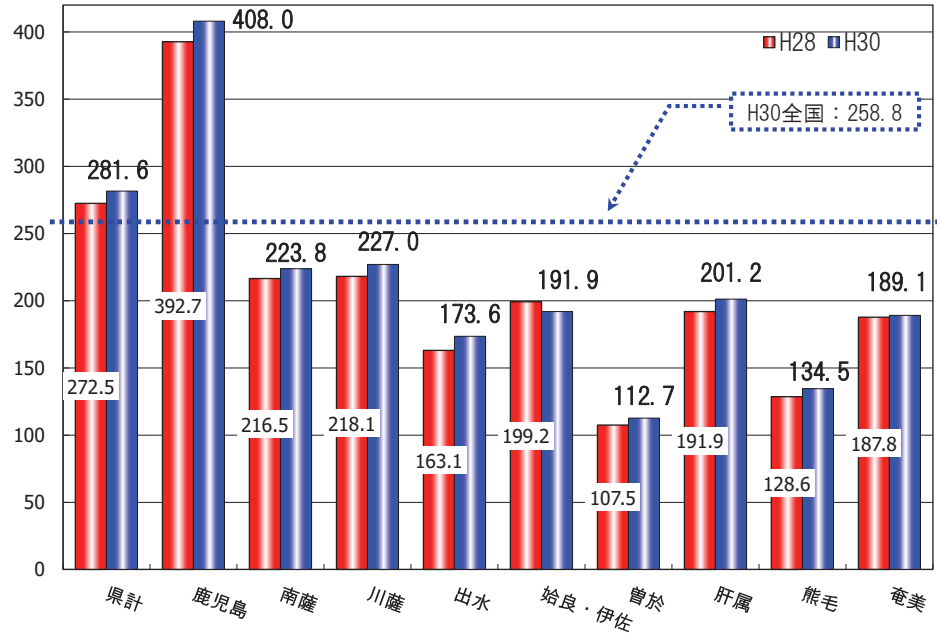
4) 医師数の推移

(人) [医師・歯科医師・薬剤師調査]



5) 人口10万人対医師数(総数)

(人) [平成28・30年医師・歯科医師・薬剤師調査]



1) 制度概要(平成18年:県独自で創設 2名/年)

○ 卒業後の勤務(平成21年:国政策に合わせて制度変更)

入学枠	履行期間	義務勤務等	猶予期間
1年次	14年	<ul style="list-style-type: none"> 初期研修 2年 医療機関 6年(うち、へき地2年) 実務研修 1年 	5年
学士枠	11年	<ul style="list-style-type: none"> 初期研修 2年 医療機関 4年(うち、へき地2年) 実務研修 1年 	4年

○ 鹿児島県の地域枠制度の特徴

※ 猶予期間を設定(4~5年)

→ 専門医取得(専門研修)といったキャリア形成や育児休業等のライフイベントに対応

※ 実務研修の実施

→ へき地診療所での勤務で必要とされるスキル等を習得するための研修

※ その他、自身の専門外の診療科に従事する場合、週1日程度、キャリア形成に配慮した専門研修を行うことも可能

2 鹿児島県地域枠制度の概要

- 1) 制度概要
- 2) 地域枠定員の変遷
- 3) 貸与者数
- 4) 地域枠医師の配置状況



(参考) 地域枠医師のローテモデルの例示(内科)

早期専門医取得のローテーションモデル(例示)

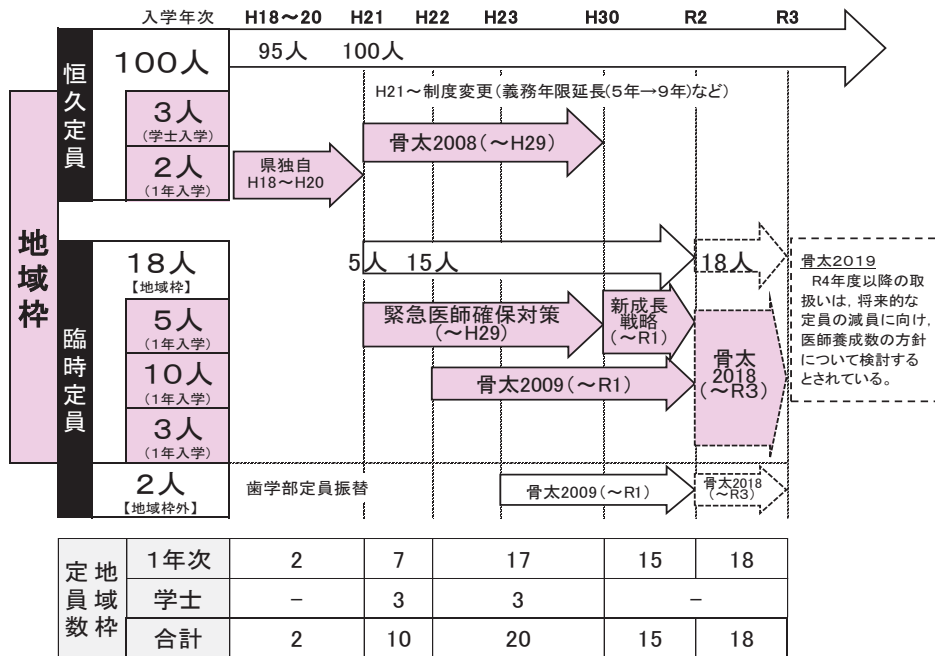
要件	卒業後	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	13年目	14年目
義務	初期臨床研修	うち、指定実務研修(1年)及び、勤務6年													
義務内年次	1年目	2年目	義務外	3年目	4年目	義務外	5年目	6年目	7年目	義務外	8年目	9年目	【終了】		
区分	初期臨床研修	専門研修	義務勤務	義務勤務	専門研修	実務研修	義務勤務	義務勤務	専門研修	義務勤務	義務勤務	専門研修	義務勤務	義務勤務	【終了】
研修/勤務先	県立病院又は鹿大病院	鹿大病院	知事指定病院	鹿大病院	鹿大病院	鹿大病院(内、救)等	鹿児島・へき地診療所	鹿大病院	知事指定病院	鹿大病院	知事指定病院				
専門研修ローテーション	基幹施設		連携施設	基幹施設	連携施設	特別連携施設	基幹施設	連携施設	基幹施設	連携施設					

早期契約履行のローテーションモデル(例示)

要件	卒業後	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	13年目	14年目
義務	初期臨床研修	うち、指定実務研修(1年)及び、勤務6年													
義務内年次	1年目	2年目	義務外	3年目	4年目	5年目	義務外	6年目	7年目	義務外	8年目	9年目	【終了】		
区分	初期臨床研修	専門研修	実務研修	義務勤務	義務勤務	専門研修	義務勤務	義務勤務	専門研修	義務勤務	義務勤務	専門研修	義務勤務	義務勤務	【終了】
研修/勤務先	県立病院又は鹿大病院	鹿大病院	県立病院(内、救)等	鹿児島・へき地診療所	鹿大病院	鹿大病院	知事指定病院	鹿大病院	知事指定病院	鹿大病院	知事指定病院				
専門研修ローテーション	基幹施設		連携施設	特別連携施設	基幹施設	連携施設	特別連携施設	基幹施設	連携施設	基幹施設	連携施設				

出典: 地域医療支援センター作成「修学資金貸与と医師の専門医取得に係るローテーションモデル」
<https://renkei.kufm.kagoshima-u.ac.jp/chikiwaku/career>

2) 地域枠定員の変遷



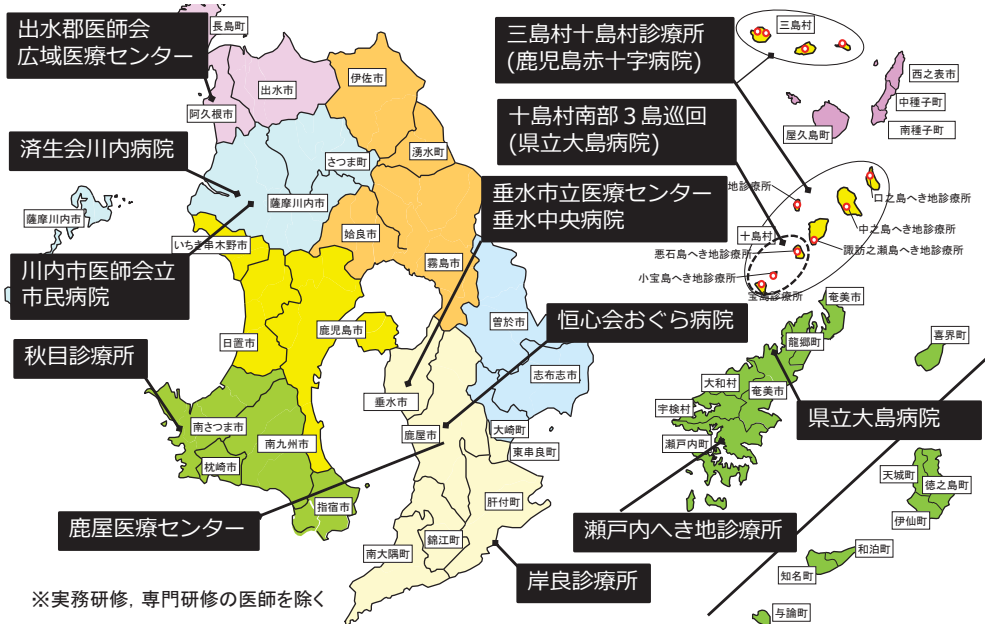
3) 貸与状況

H31.4.1現在

1年次	卒前							卒後							計 (①~⑤)				
	貸与中							国試浪人 ②	臨床研修			卒後3年目以上				義務終了 ④	離脱 ⑤		
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	小計 ①		1年目	2年目	小計 ③	義務内		小計 ③					
												へき地	知事指定					実務研修	専門研修
旧制度 (H18~20)							0	0			0	3			3	2	1	6	
新制度 (H21~)	15	17	17	16	16	18	99	1	20	18	38	1	10	1	21	33	0	2	173
学士枠				1	3	3	7	0	4	2	6	1	2	1	3	7	0	5	25
計	15	17	17	17	19	21	106	1	24	20	44	5	12	2	24	43	2	8	204
男	9	9	9	11	10	10	58	1	11	13	24	1	10	2	13	26	0	4	113
女	6	8	8	6	9	11	48	0	13	7	20	4	2		11	17	2	4	91

4) 地域枠医師の配置状況

※義務勤務者(H31.4.1現在): 17名 (5診療所, 7病院)



4) 地域枠医師の配置状況

(参考) 地域枠医師の配置先

- ① へき地診療所(29)・国保診療所(22)
- ② 知事が指定する病院(23)

地域医療支援病院, へき地医療拠点病院, 小児科・産科拠点病院, 共同利用型病院, 公的医療機関(病院), 国立病院機構

(参考) 二次医療圏毎の配置医療機関数

二次医療圏	へき地	知事指定	二次医療圏	へき地	知事指定
鹿児島(11)	11	0	曾於(2)	1	1
南薩(7)	3	4	肝属(12)	7	5
川薩(12)	9	3	熊毛(6)	4	2
出水(8)	6	2	奄美(10)	9	1
始良・伊佐(6)	1	5			

3 地域枠医師の確保・養成に向けた取組

- 1) 確保に向けた取組
- 2) 養成(定着)に向けた取組



2) 養成(定着)に向けた取組

【入学前】

- 県内高校や予備校に対する, 生徒への制度周知依頼
- 県職員訪問による学校長・進路指導者等への制度説明と地域医療への熱意を持った学生の推薦依頼
- 鹿児島大学オープンキャンパスでの親子を対象にした制度説明

【卒前】

- 地域医師育成特別顧問設置による, 卒前・卒後・義務明けまでを見通した地域枠医学生の育成・支援
- 地域枠入学生の知事への表敬訪問
- 地域枠医学生と卒業医師との交流会※
- 1~3年生を対象とした離島へき地医療実習の実施※
(自治医科大学医学部生と合同で実施)
- 市町村長や郡市医師会長等との意見交換会の実施(県医師会主催)
- 地域枠医学生・卒業医師と自治医大卒医師との意見交換会※

※: 県が地域医療支援センター(鹿児島大学内)に委託

1) 確保に向けた取組

- 鹿児島大学地域枠(臨時定員)の増員
現行15人 ⇒ 令和2年度: 定員18人(+3人)

※ 増員の背景

① 国が示した必要医師数の積算

2036年までに必要医師数を達成するための不足養成数: 27人/年

② 地域からの高い医師需要

地域枠医師・自治医大卒医師の配置可能数に対する配置要望数
: 3.5倍(91/26)

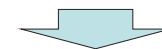
(単位: 箇所, 人)

区分	施設数	H30配置要望人数 a	R01配置人数 b	未配置人数	倍率 a/b
へき地診療所	29	15	12	3	3.5倍
国保診療所	22	3	2	1	
知事指定病院	23	73	12	61	
合計	77	91	26	65	

2) 養成(定着)に向けた取組

【卒後】

- 今後の勤務等に関する進路面談(年1回以上/人)
(県と地域医療支援センター合同で実施)
- 市町村長や郡市医師会長等との意見交換会の実施(再掲)
- 地域枠医学生・卒業医師と自治医大卒医師との意見交換会(再掲)



定着状況

- ・ 地域枠の県内定着率: 96.1%
- ただし,
- ・ 臨時定員増に係る地域枠(新地域枠1年)の卒前離脱医学生: 0人
- ・ 平成25年度入学者以降の離脱者: 0人








← 離島へき地
医療実習

地域枠医学生・卒業
医師と自治医卒医師
との意見交換会



「オールかごしま」で支える鹿児島県の地域医療

 <p>65歳以上勤務医 ◆定年退職 医師の活用</p>	 <p>卒後4年目以上 ◆U・I・Jターン 医師の就業支援</p>	 <p>卒後3年目 ◆専攻医の確保</p>	 <p>卒後1〜2年目 ◆県内臨床研修医 の確保</p>	 <p>医学士時代 ◆鹿大医学部 入学定員の増 (85名→H23・117名) 地域枠学生の育成 (H18年・2名 →R2年・18名)</p>
◆女性医学生や女性医師の支援 など				
◆医師の離職防止 など				

SUPPORT ALL KAGOSHIMA

県民

適正受診の推進（コンビニ受診の防止）、患者－医師の良好な関係

市町村 関係機関 市郡医師会 県初期臨床研修連絡協議会
臨床研修病院 県医師会 鹿大病院 地域医療支援センター 鹿児島県



ご清聴ありがとうございました



燃ゆる感動 **かごしま国体**
第75回国民体育大会

燃ゆる感動 **かごしま大会**
第20回全国障害者スポーツ大会

熱い鼓動 風は南から 2020



とんとん 鹿児島